新編金瓶梅三集 上

馬琴作
豐國画

へ13
3724
3

門 ヘ13
號 3724

清の玩葵生が茶餘客話に云ふ狗を屠る者は狗これを吠し牛を解くものは牛これに觸る夫狗と牛とは智慧ありけれども自然に等類の怨を知て或は吠或は觸る物類相感天理はかぐ善悪報應類を知るべしとなり

浮屠家の五戒に殺生とのべ第一義とす彼狗を屠り牛を解く者今生に一ぺ狗吠に遭ひ牛觸に遇ふとは身後の應報なることを得んや然れども善を行ふ者福なる者あり不善を做す者禍なる者あり是故に世の人惑ふべし動もすれば天を怨み人を怨み善悪報応なしと思ふは亦その遲速とあり久く終に報ずるを知らざるべし然れども書に云ふ作善降之百祥作不善降之百殃とあり應報の速なるは又易經に云ふを見れば積善家必有餘慶積不善家必有餘殃とあり應報の遲速をいふのみ蓋善を做す者は

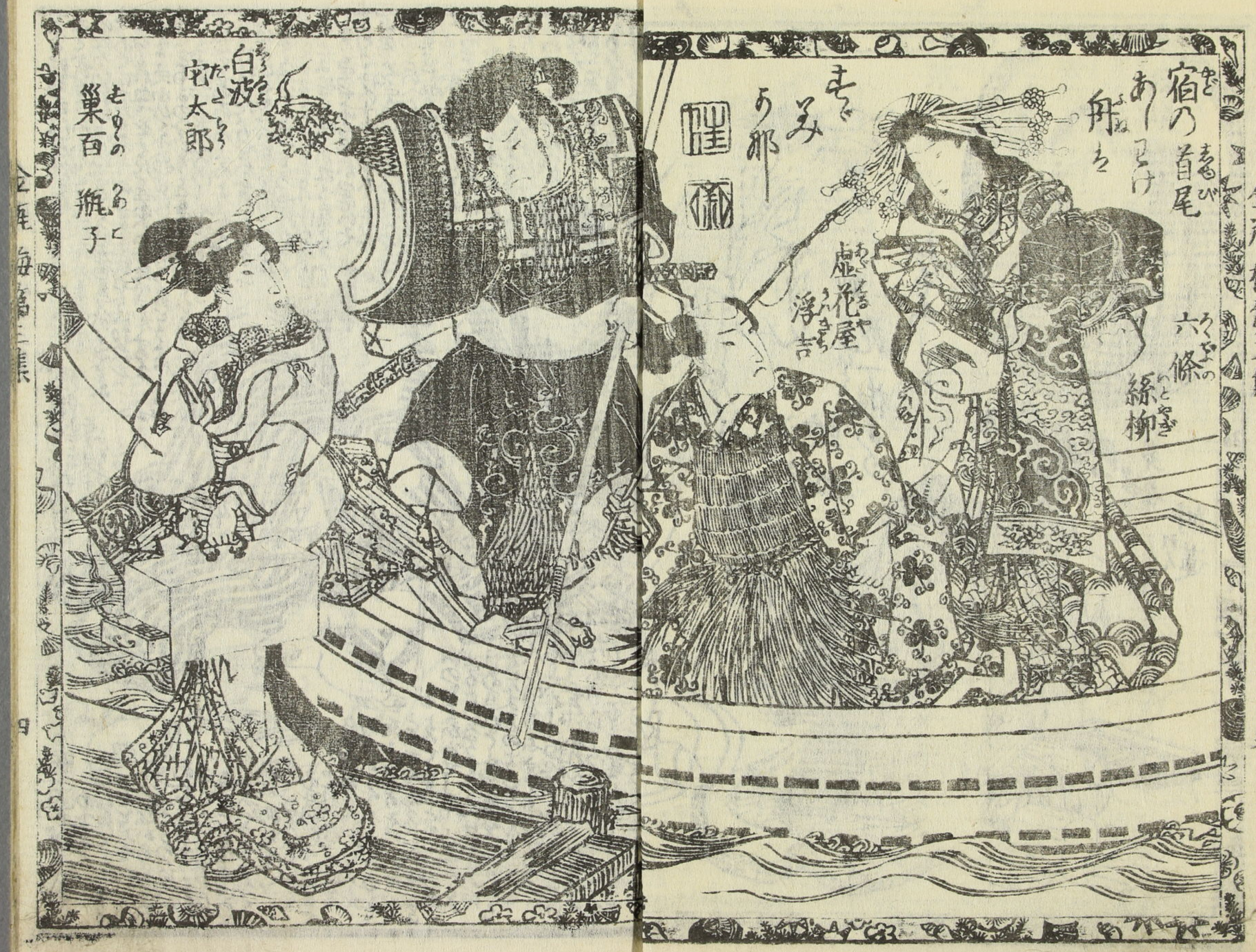
門 ヘ13
號 3724

その身に千万延年福壽兒孫に在て立身栄達血脉とのべく相續も又不善を做す者は其身に於て短命横死子孫に在て凋落癈絶他人代りて家に入る世に人の父祖たる者身の為兒孫の與と思ひ懲て不善を做すべし善悪応報遲速あり近ては必其身に報ひ遠ては必兒孫に報ず歳月をへて論じ難し應報の理を知まく思ひ童蒙先這金瓶梅を看るべし。

天保五年甲午春正月吉日新板 曲亭馬琴真四角序

花千富む
峰山
美盛
たれ
ちをを
加郡
京師の
ちをりと
栞戸
川ぞろ
鳥居
あつべく
琴柱
孝女
琴柱

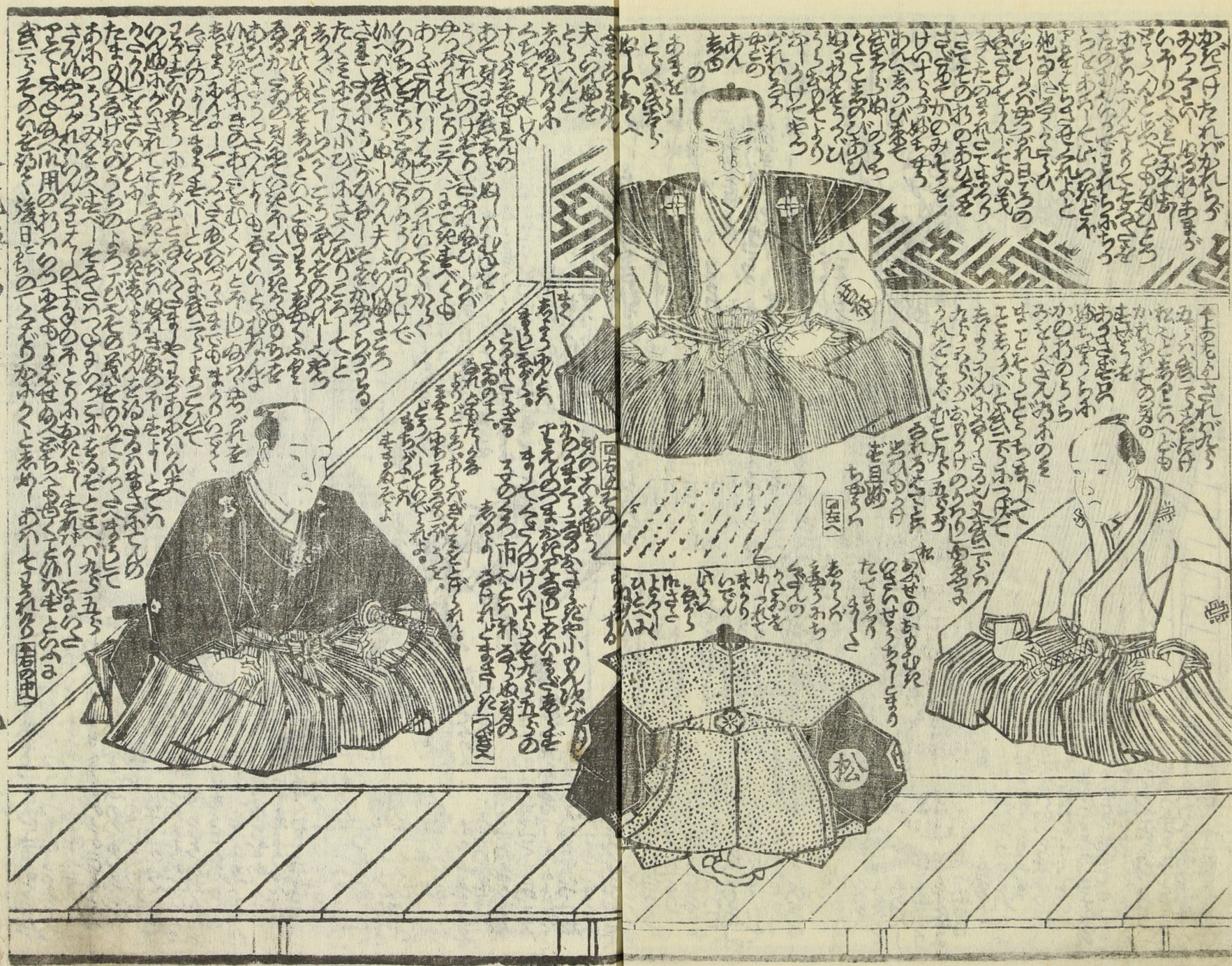
金瓶梅第三集
蔦松
加蘭太
蛇蝎
花一樹あり
多金の
阿蓮
船舘幕左門
孟景


宿の首尾
あり又け
舟そ
六條
絲柳
虛花屋
浮吉
白波
宅太郎
巢百
瓶子

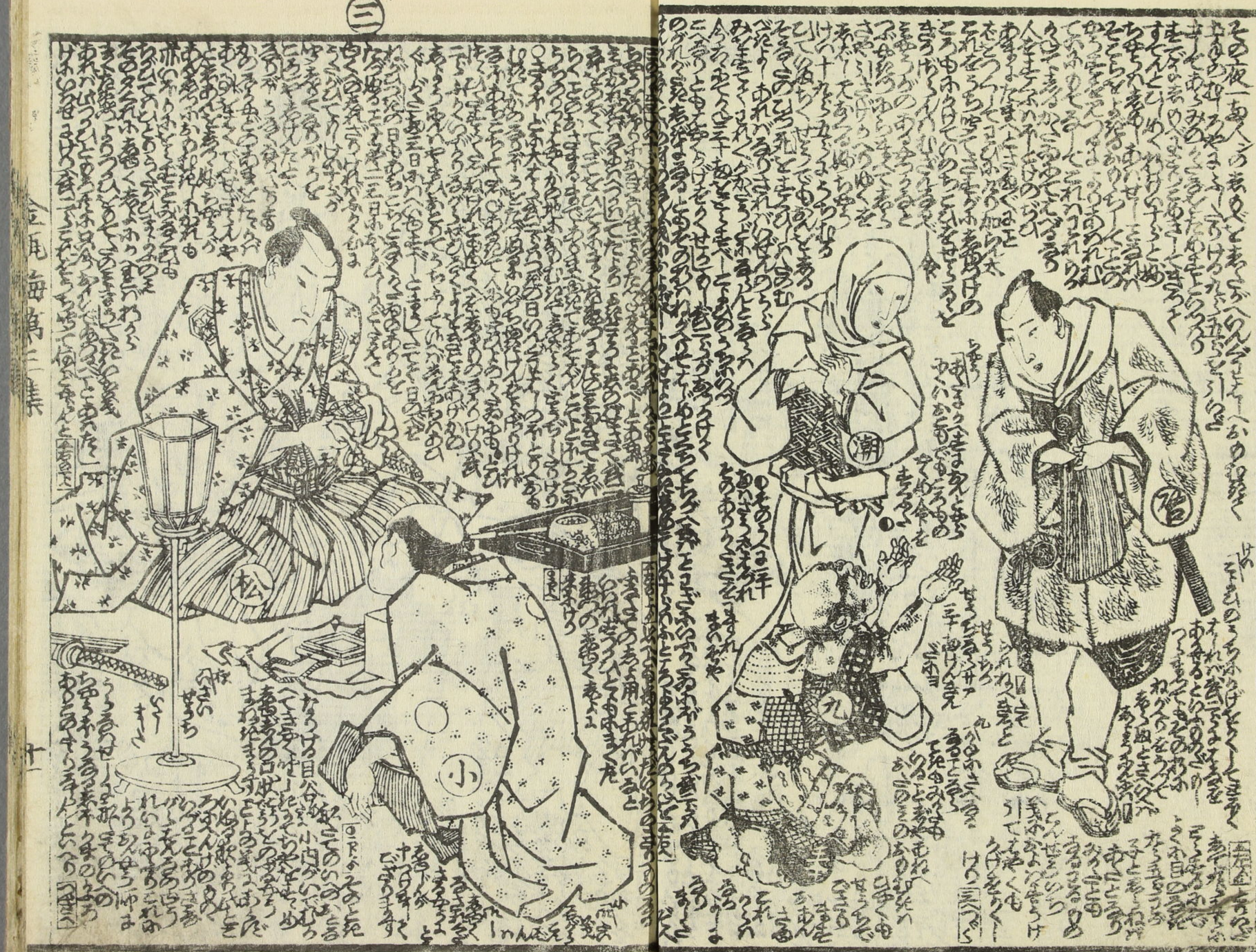
潮
薫

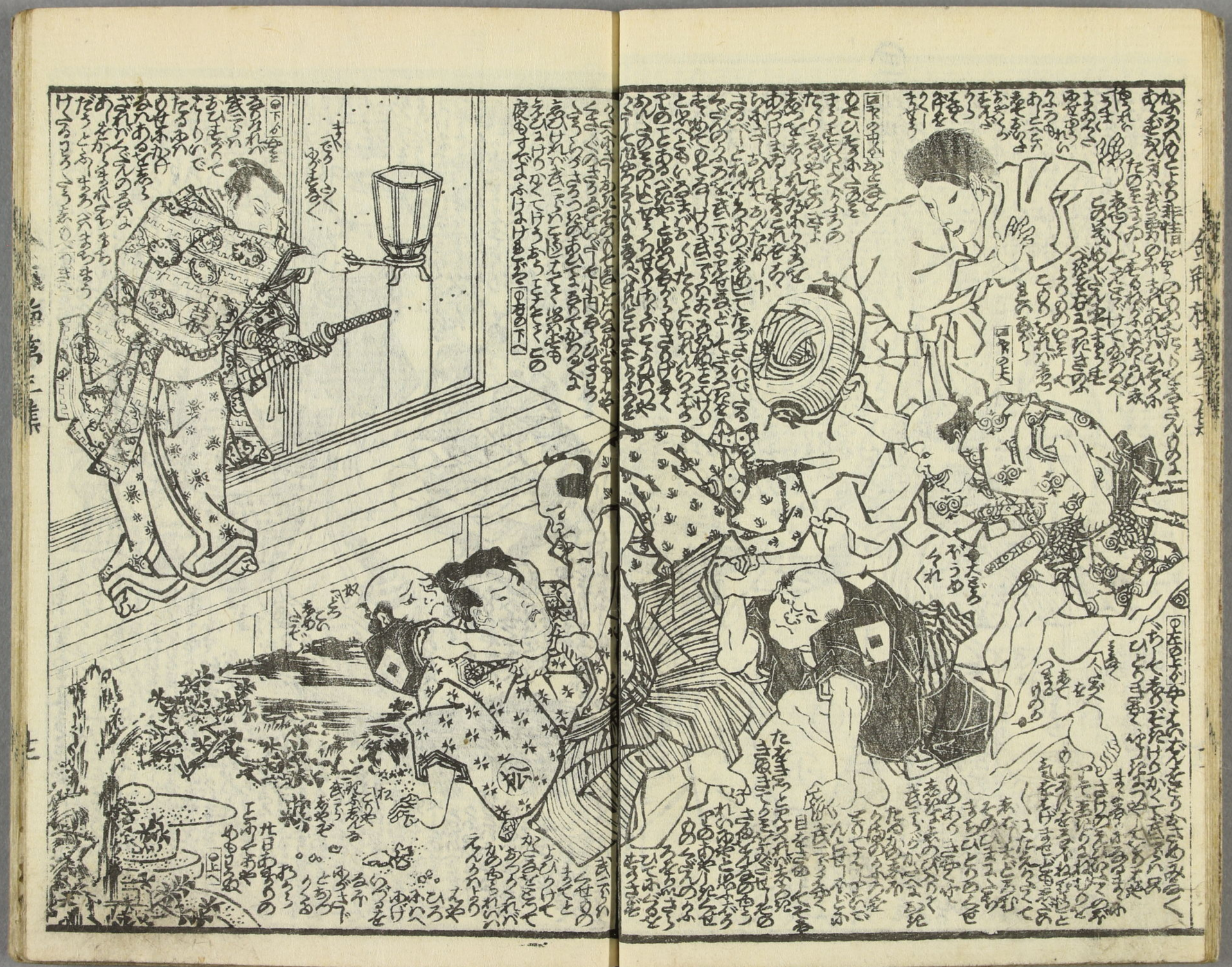
弥陀経

松


松

金二郎之夢 第二編
潮
加
九


潮
丸
松
小



九

九

家傳神女湯 一包代百銭

精製奇應丸 大包代五貫文 中包代二貫五百文 小包代五百文

熊胆黒丸子 一包代弁

製薬本家 神田明神下 瀧澤氏

馬琴作

國貞画

浄書 金川

新編金瓶梅十集

曲亭馬琴作
一陽齋豊國画

女郎花五色石碁

初編 曲亭馬琴作
四冊 一陽齋豊國画

児雷也豪傑譚七篇

美圖垣笑顔作
一陽齋豊國画

菊花壇養種

初篇 全一冊

新編

馬琴作

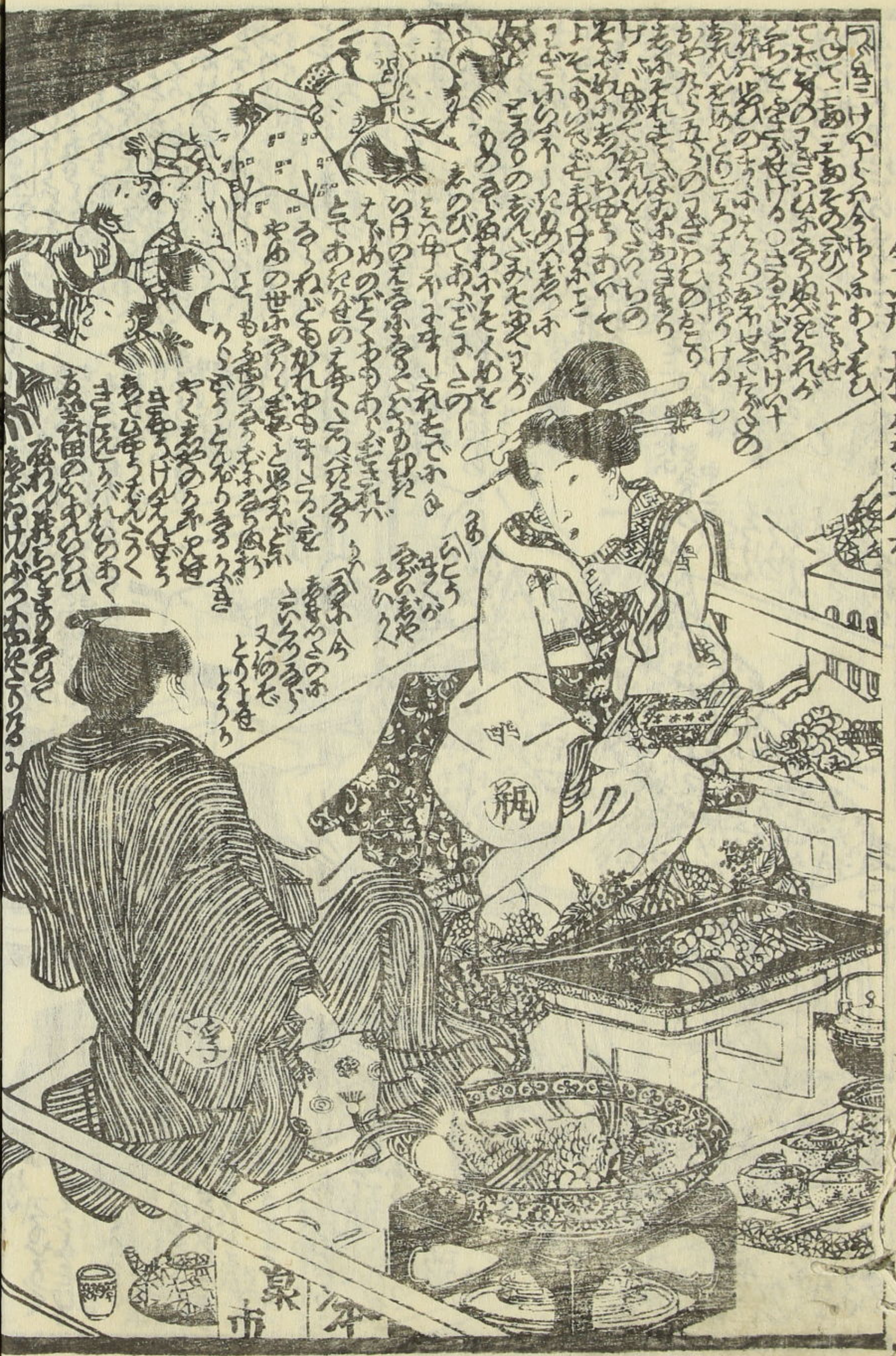
きんぺい だん たん さん まのみ

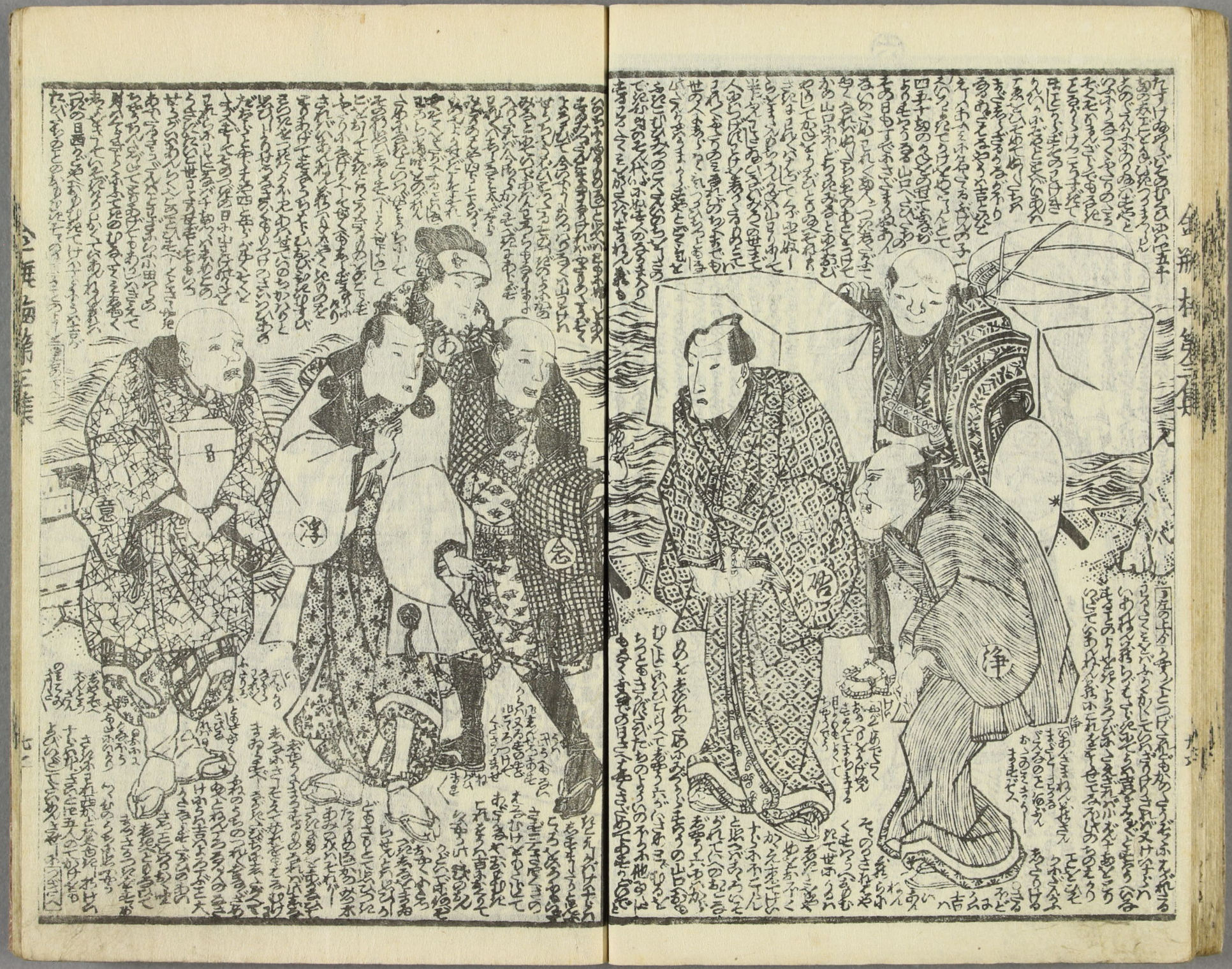
金瓶梅第三下帙

國貞画

天保甲午孟陽出

和泉屋市兵衛梓



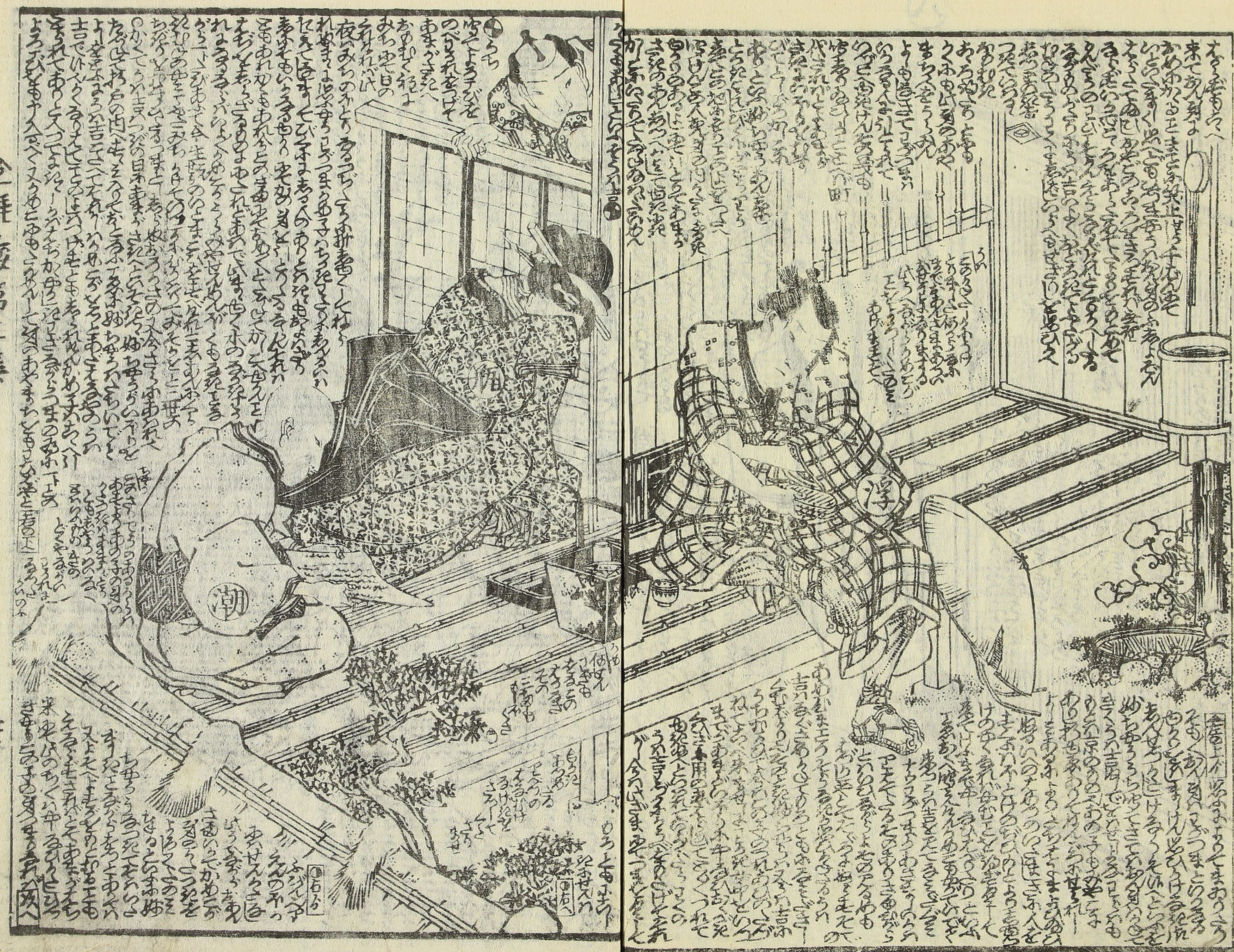

浄
僧
浄
念
浮
意

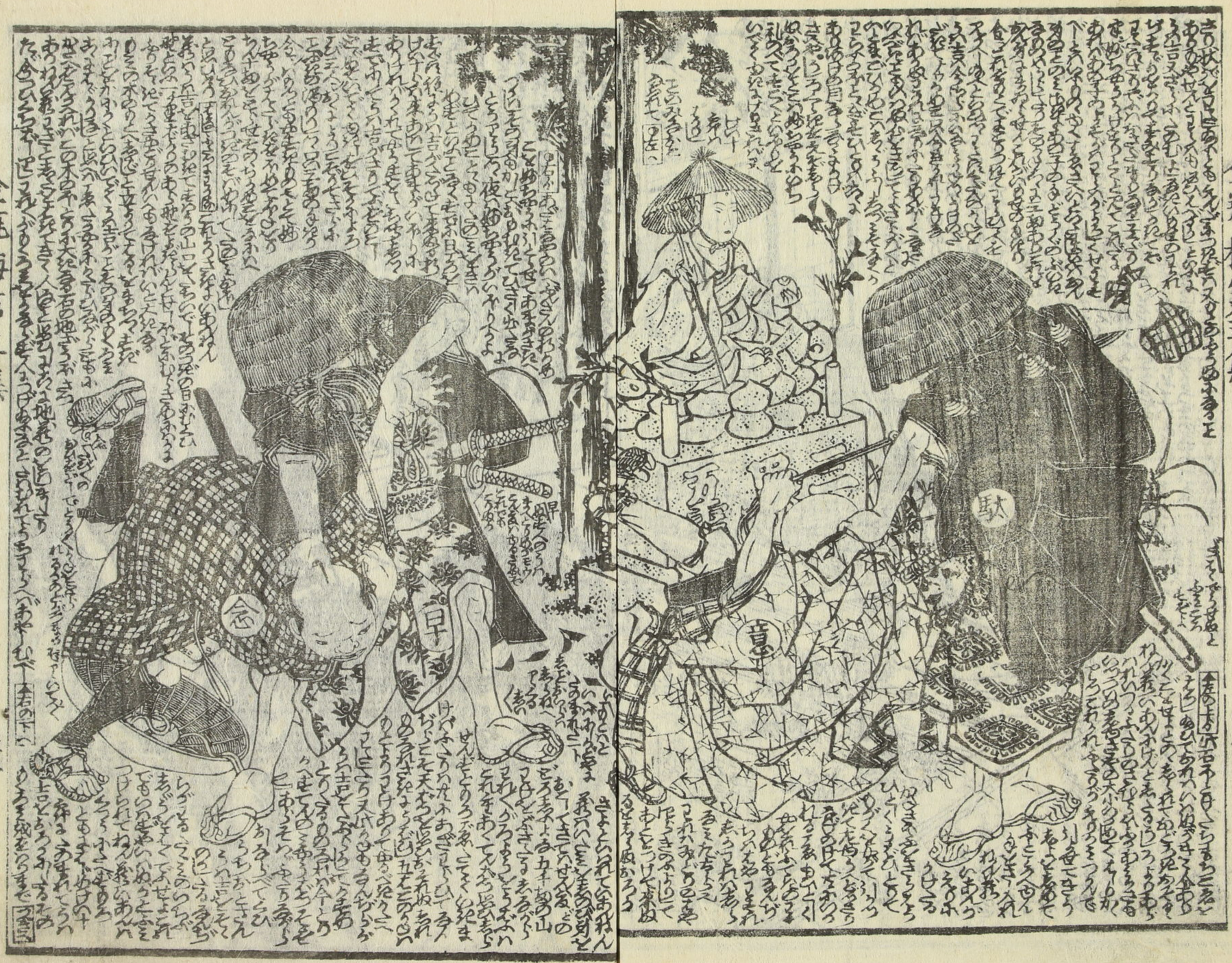
新編

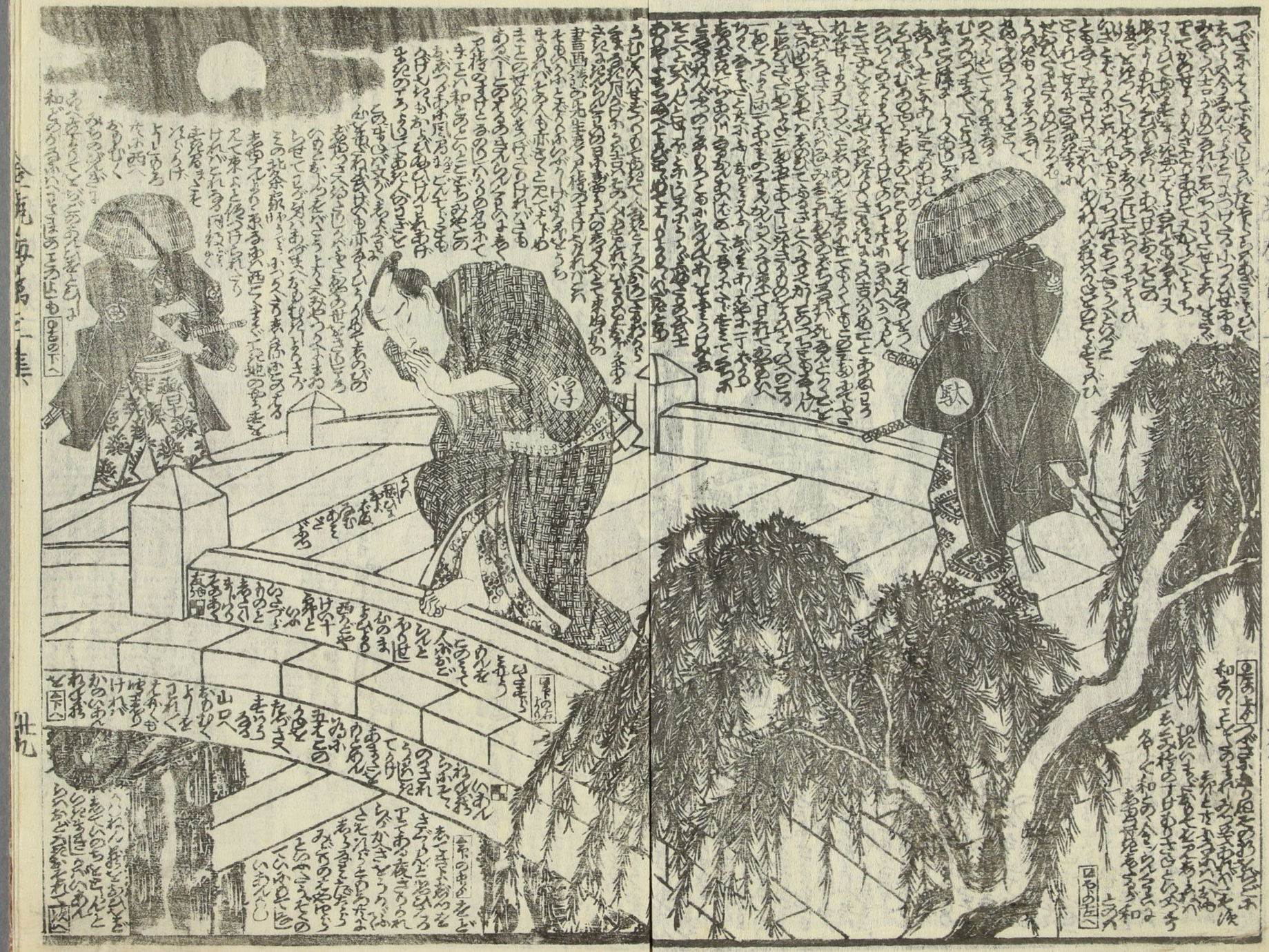
柳
意

潮
酒

賣居


浮
潮




駄
浮
早

湖月百人一首撰庫

深氏絵尽
女今川入

繪本名頭武者部類　前北斎筆　全

玉百人一首

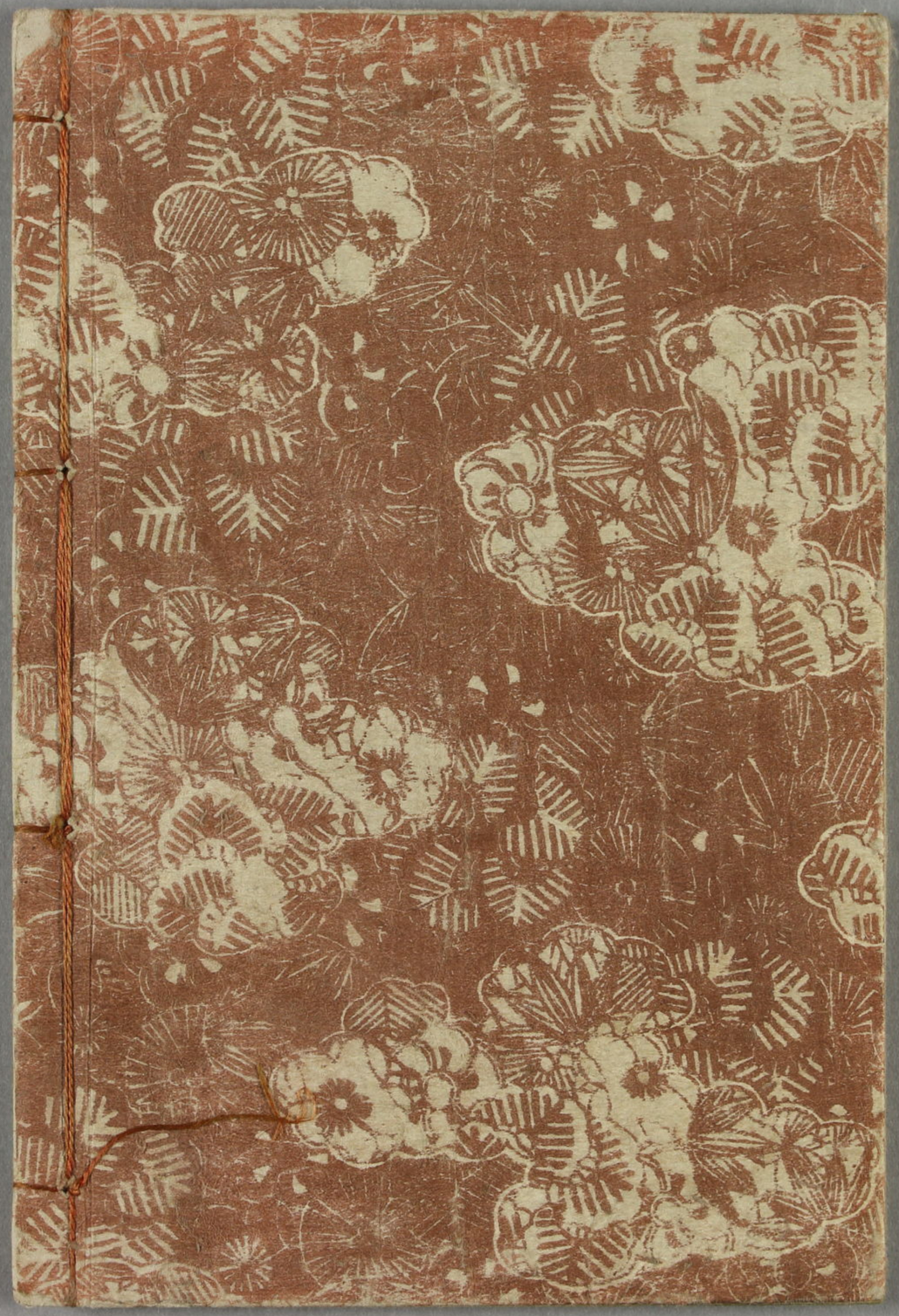
深氏絵尽　中本　全

姿百人一首小倉抄

蘭山先生著

女用文章　大本一冊

文字をあげ　たんざく　ものの　ものの　折　ものの

鶴賀新内正本所

和泉屋市兵衛